

大分県の子どもたちにあたたかい手を



子ども食堂 応援プロジェクト クラウドファンディング

大分県こども・家庭支援課では、子ども食堂の運営費に関する寄付を広く募るため、9月1日から11月30日まで子ども食堂応援プロジェクト・クラウドファンディングを実施しました。集められた寄付金は、その他の寄付金と合わせて約600万円にもなりました。また、多くの方から子ども食堂への温かい応援メッセージをいただいています。現在、おおいた子ども食堂ネットワークに登録している子ども食堂への配分手続きを進めています。ご寄付いただきました多くの皆さま、本当にありがとうございました。



応援メッセージ

- 笑顔の子どもが大分県内に一人でも増えますように。
- 大分県の子どもたちの、今と未来を応援します。
- 頑張っている大分県内の子ども食堂を応援しています。

子ども食堂は、地域にある「みんなの居場所」
子どもから大人までだれでも参加できます。



子どももおとなも、
ひとり暮らしのお年寄りや
障がいのある人も...
だれでも
参加できる！



おおいた子ども食堂ネットワーク
Facebook



大分県社会福祉協議会
子ども食堂ホームページ

子どもがひとりでも入れるのが「子ども食堂」です。
※対象者や内容は食堂によって異なります。

気軽な支援で応援できる SDGsに取り組みませんか

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と県内の企業、社会福祉施設のご協力により、おおいた子ども食堂応援自動販売機を設置しました。

今回設置した自動販売機は、県社協のマスコットキャラクター「だいふくん」をモチーフとしたオリジナルラッピングデザインです。

売上の一部はおおいた子ども食堂ネットワークを通じて、県内の子ども食堂に寄付されます。

令和4年2月末現在の設置数は4台ですが、今後も設置していく予定です。自動販売機を見かけた際は、ぜひご購入ください。

自動販売機の設置にご協力いただける企業、社会福祉施設は、県社協までご連絡をお願いします。



県内第1号
株式会社トキハ
(わさだタウン)

県北第1号
いずみの園



設置先企業・施設(敬称略)

※2月末現在

- 株式会社トキハ(わさだタウン)
- 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団中津総合ケアセンターいずみの園
- 株式会社大分銀行 わさだ・富士見が丘支店
- 株式会社大分銀行 玖珠支店

ご協力ありがとうございます!!



大分社会福祉

だいふく No.195

発行/令和4年3月 発行・編集/社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
〒870-0907 大分市大津町2-1-41 TEL (097)558-0300 FAX (097)558-1635 E-X-JL info@oitakensyakyo.jp

だいふく

大分社会福祉

No.195
2022.3

おおいた歩得表彰式!



今年度も入賞できました!

大分県社協は職場全体での健康づくりに取り組んでいます。
「おおいた歩得」のチーム対抗戦にも毎回参戦しています!

大分県健康寿命

祝 男性 全国1位
女性 全国4位

※令和3年12月発表



Instagram

facebook

大分県社協

検索

<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています

特集

「ダブルケア」ってご存じですか?

- 知ってほしい、ヤングケアラー
- 子どもたちの笑顔のために 朝食支援
- 大分DWATをご紹介♪
- あなたの街にも「地域共生」の取り組みを!
- “障がい者eスポーツ”始動です!!

「ダブルケア」ってご存じですか？

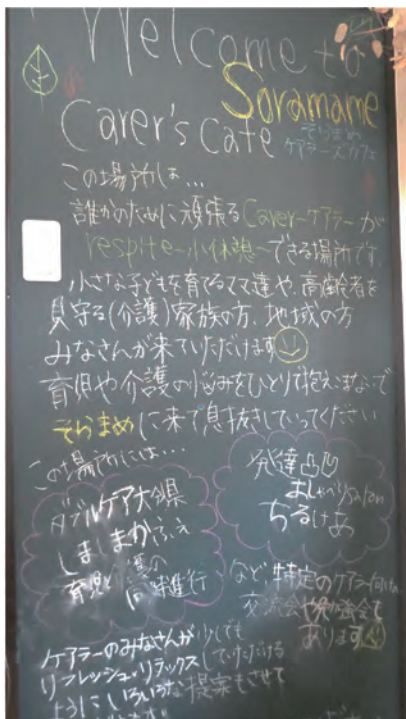
ダブルケア当事者の負担

- 精神的にきつい
- 体力的にきつい
- 親や子どもの世話を十分にできない
- 経済的負担が大きい
- 兄弟や親戚間での認識のずれ
- …など複合的

みなさんは「ダブルケア」ってご存じですか？ ダブルケアとは、「育児」と「介護」が同時に行われていることを表す言葉です。

晩婚化と出産年齢の高齢化により、兄弟数や親戚付き合いの減少がみられるいま、子育てと親の介護を同時に行う世帯が増加しています。

また、ダブルケアは「育児と介護」に限らず、介護と孫支援、育児と配偶者や自分自身のケアなど、複数のケアを同時に行う必要があることをいいます。一般社団法人ダブルケアサポートが行った調査では、調査対象約1,900名のうち、実に4割がダブルケア当事者だとわかったそうです。



大分市内でダブルケアについて啓発活動をしているグループがあります ダブルケア～育児と介護～ しましまかふえさん

代表者の佐藤智子さんは、ご自身が4児のママとして奮闘しつつ、介護とのダブルケアに悪戦苦闘をしてきた経験から「自分の経験を誰かのために…」と、この活動をスタートさせました。

平成30年に活動を開始し、育児や介護に悩む人たちや経験者が集う機会を、市内外で設けてきたそうです。そんな「しましまかふえ」さんが、この度、善意銀行配分金も活用しつつ、「ケアラズカフェそらまめ」を大分市高城で令和3年10月13日からオープンしました。

“育児と介護”だけでなく、療育、看病、こころや身体の不調を抱える家族へのケアなど、誰かのお世話を頑張っている方が気軽に立ち寄って、少しの間ホッと一息つける場所を目指しています。

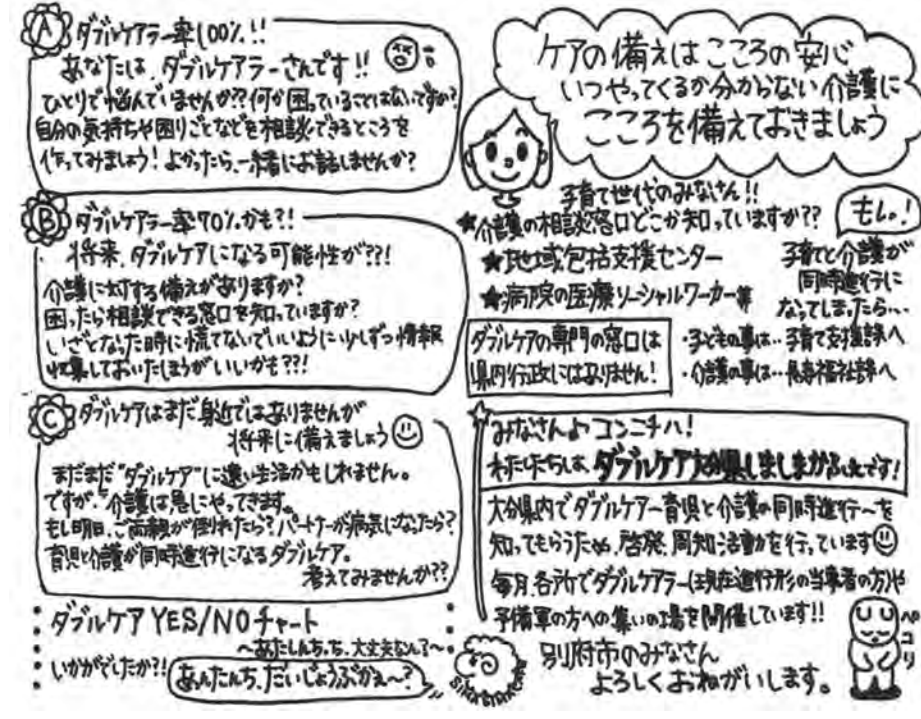
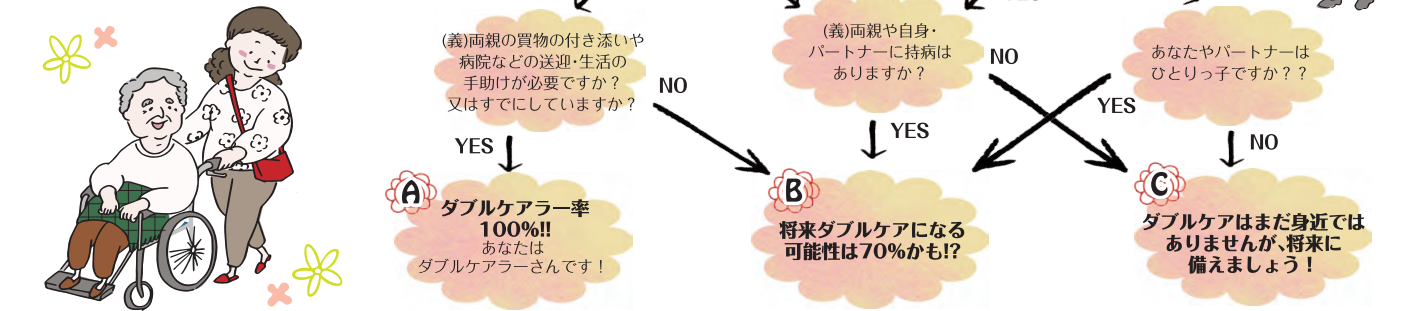
しましまかふえ 大分市高城西町 TEL 090-5020-0638



しましまかふえ 代表 佐藤智子さん

ダブルケア Yes・No チャート あたしんち大丈夫なん!?

©しましまかふえ



しましまかふえ 代表の佐藤さんからの メッセージ

ケアラーの当事者の皆さんが悩みごとを一人で抱え込まず、前向きにケアに取り組めるように、そして仲間づくりや情報交換の場所を設けることで社会から孤立しないような手助けができればいいなと思っています。

長くこの活動を続けていき、より多くの人に【ケアラー】という言葉を知ってもらうことで『他人事ではない』と、少しでも考えてくれる方が増えてくれたらいいなあと、感じています。

知ってほしい ヤングケアラー

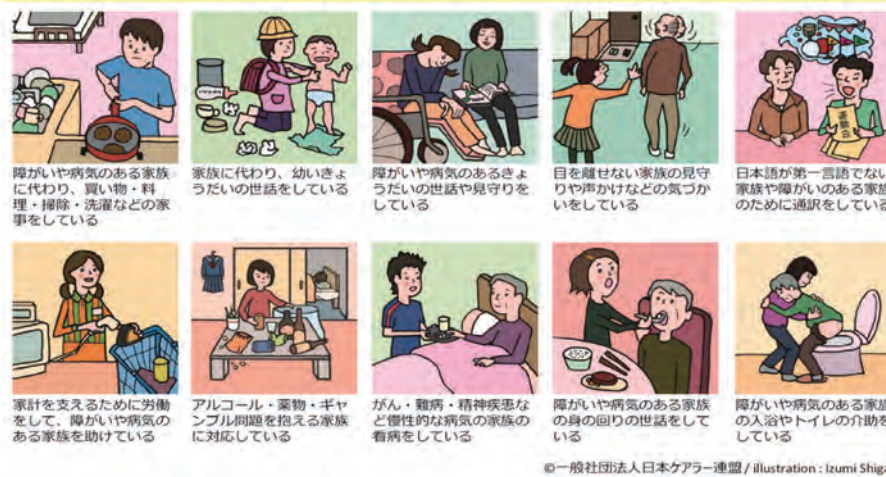
令和3年3月に公表された全国規模の調査報告書では、世話をしている家族が「いる」と回答した子どもは、中学2年生で5.7%、全日制高校2年生で4.1%という結果になりました。そのなかには、家族へのお世話を「ほぼ毎日」している中高生は5割弱、一日平均7時間以上お世話している中高生が約1割存在するという結果がでています。

また、報告書にはこのような子どもたちには、本人に「ヤングケアラー」という自覚がない人も多く、誰にも相談できずに日々ひとりで耐えている状況がうかがえるなど、表面化・顕在化しにくい構造から、福祉、介護、医療、教育の関係機関が相互に連携し、一体となって切れ目のない支援を展開する必要性について記載されています。

ヤングケアラーは、法令上の定義はありませんが、家族にケアが必要な人がいる場合に、18歳未満の子どもで、大人が担うようなケアに関する責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを日常的に行っている人のことをいいます。背景には、少子高齢化や核家族・共働き世帯の増加、経済環境の変化などさまざまな要因があります。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



相談先や
情報検索は
こちらから



厚生労働省



<https://www.mhlw.go.jp/stf/young-carer.html>

厚生労働省QR

大分県



<https://www.pref.oita.jp/soshiki/12480/surveyoftheyoungcarer.html>

大分県QR

子どもたちの笑顔のために 朝食支援

子ども食堂「ぶくぶく」(臼杵市)

子ども食堂「ぶくぶく」は、平成28年10月に臼杵市で開設されました。「ぶくぶく」という名前には、「子どもたちを“満腹”にして“幸福”にしたい!」という願いが込められています。代表の副島恵美子さんは、臼杵市母子寡婦福祉会の会長を務められ、やさしく、時に力強く寄り添う“地域のお母さん”。ボランティアスタッフは10名ほどで運営されています。「ぶくぶく」では、毎月第4月曜日に夕食支援を展開しており、平成29年4月からは、毎週月曜日に朝食支援もはじめました。

臼杵市立市浜小学校で朝7時30分からおにぎりや味噌汁を提供しています。朝食支援をはじめた「きっかけ」は、学校のアンケート。「全校児童の8%が朝食を食べていなかった」。当時、小学校の全校児童が約430名のうち、35名程度は朝食を食べていなかったこととなります。

その結果をみた子ども食堂「ぶくぶく」は「おにぎりや味噌汁だったら提供できます!!」と学校へ提案したところ、学校も歓迎! 朝食支援が始まったのです。



子ども食堂「ぶくぶく」
代表 副島 恵美子 さん



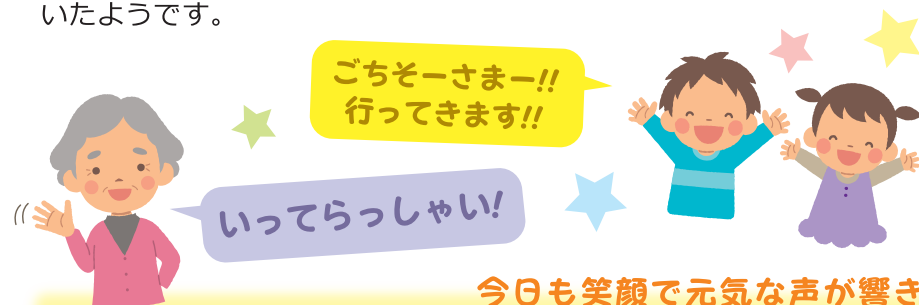
「今まで授業中にうつぶせになって集中力がなかった子が、
朝ごはんを食べた日は寝ることもなくてびっくり!」
「朝ごはんを食べた日は、にこにこして機嫌がよい。こんなに違うのか!」
「あいさつなどの礼儀、コミュニケーション、食への感謝を学ぶ場所にもなる!」

先生の声

令和3年6月からは毎週金曜日にも朝食支援をスタート。この取り組みには大分県も支援を行い、食材は一般社団法人グリーンコープ共同体が提供! 金曜日の朝食は、パン、バナナ、ヨーグルト、牛乳などがテーブルにならびます。

そして、今日も朝食の時間がはじまり、「ぶくぶく」のスタッフさんは、朝食をテーブルに並べていきます。朝食会場には、異なるクラスや学年の児童が集まり、先生方も顔をのぞかせています。口いっぱい食事をする児童、少しずつだけ食事を口に運ぶ児童…

それぞれに、それぞれの朝食時間を終え、さあ、1限目の時間が近づいたようです。



今日も笑顔で元気な声が響きます。



朝食支援を通じて 大分県こども・家庭支援課 副主幹 高橋純子氏

子どもたちに朝食を食べる習慣を身につけてもらいたいと、大分県は令和3年度から朝食支援の取り組みを始めました。現在、県内4市6校で週1回実施しています。

各朝食会場は、スタッフ、友達、先生方との交流の場にもなっていて、とても活気があります。「おいしかった〜!」「ほっとした〜!」「がんばるぞ!」と、元気に教室へ向かう子どもたちの姿に、私自身も元気をもらっています。

少しずつこの取り組みの輪が広がっています。今後もたくさん子どもたちに、朝食を食べる体験をとおして、元気で充実した学校生活を送ってほしいと思います。

第18回大分県ボランティア・NPO推進大会

あつまれ! ボランティア・NPOの輪2021 開催

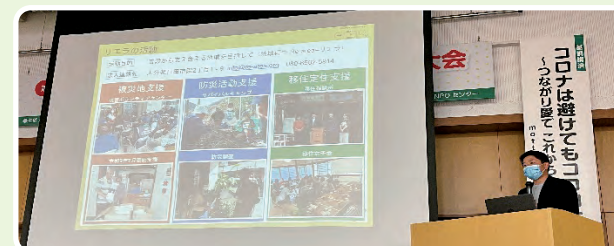
令和3年11月29日、J:COMホルトホール大分大会議室及びオンラインで、『第18回大分県ボランティア・NPO推進大会』を開催しました。県内のボランティア団体をはじめ、NPO、市町村社協職員、行政など、約180名が参加しました。

大会前半は、mottoひょうご事務局長の栗木 剛氏により『コロナは避けてもココロは密に〜つながり愛でこれからの地域づくり〜』と題して基調講演を行いました。活動者の高齢化やコロナ禍での縮小、休止を余儀なくされている中、これからのボランティア・NPO活動を盛り上げていくためにはどうしたら良いか、お話をいただきました。



mottoひょうご 事務局長 栗木 剛氏

大会後半では、県内でボランティアやNPOとして活躍している5つの団体が発表を行いました。食品ロスの取組み、災害時の経験を通じた日頃のつながりの大切さ、孤育て状態のママを応援するための活動、子ども食堂の現状と今後のボランティア活動について報告し、住民一人ひとりが地域づくりに欠かすことができない存在だと気づきを与えていただきました。



〔活動発表〕災害時こそ、つながりの力
NPO法人リエラ 代表理事 松永謙矢氏

“もしもの時”に
頼れるチーム!

大分DWATをご紹介します♪



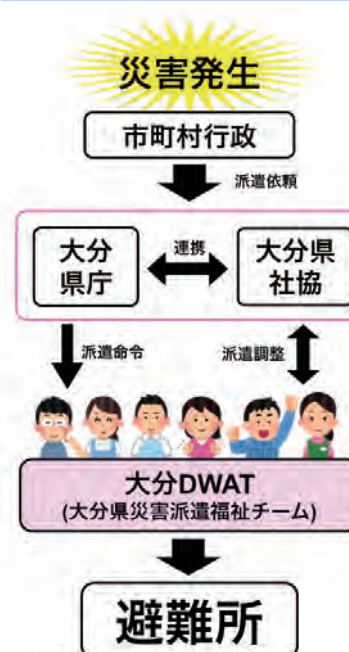
みなさん、大分DWAT(ディーワット)をご存知ですか?

正式名称は「大分県災害派遣福祉チーム」といいます。大規模災害が起きた時、避難所における高齢者、障がい者、妊産婦、子ども、外国人などの要配慮者のサポートを行う専門職チームです。

大分DWATは、県内の社会福祉施設等で構成され、現在45法人241人がチーム員として登録されています。県内ではまだ活動実績はありませんが、万が一に備え、体制構築を進めています。

大分DWATの派遣は、被災市町村からの要請によって調整が行われ、被災地の避難所に派遣されます。

派遣までのながれ図



令和3年11月30日は、大分DWATに登録するチーム員の養成研修会が行われました。

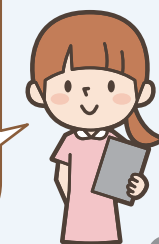
今年度はオンラインで開催され、63名のチーム員が参加し、DWATの先進県である群馬県社会福祉協議会の鈴木伸明氏から講義があり、DWATの基礎知識を学ぶことができました。

後半は演習として、実際に避難所で行う聞き取り調査を想定して、ロールプレイを交えた演習を行いました。

災害は起きないことが一番ですが、万が一に備え、大分DWATの体制構築を進めていきたいと思っています。

参加者の感想

- 実際に派遣されることになった時には、今日の研修を復習しながら支援にあたりたい。
- 各専門職が連携し役割を分担することで、支援の幅を広げることができると思った。
- 実際の経験がある群馬県の話が聞けて、とても参考になった。
- この研修で学んだことを実際の現場で活かして、被災者のチカラになりたい。



佐伯市鶴見

地域交流拠点さざなみ&生活支援ボランティアグループ鶴鶴クラブ



佐伯市鶴見は九州最東端にある町。美しい自然とキラキラと輝く海岸線を眺めつつ、佐伯市内から15分ほど走ったところに、地域交流拠点さざなみはあります。

インタビューにご協力いただいたのは、メンバーの三又早子さんと、大野美幸さん、平川ツガ子さん、そして佐伯市社会福祉協議会鶴見支所の皆さん。

佐伯市では平成26年の介護保険法改正に伴い、全市一斉のニーズ調査を実施。その結果をもとに、ボランティア養成講座が全5日間の日程で実施されました。その時の受講者が、この会の初代会長や、三又さん達だったそうです。

さざなみでは、火曜日と木曜日は定例で拠点を開け、それ以外でも「旗が立っていたら開いているから気軽に立ち寄って良い」というルールになっているそう。この日は体操教室が行われており、3名の参加者と4名のボランティアスタッフが活動をしていました。

「まずは、誰でも気軽に寄れる場所が欲しいと思って、あちこちを探して、そしてここに行き着いたんです！」と、ご紹介いただいたこの拠点は、もとは鶴見診療所のドクター専用の住宅。もう10年ほど空き家になっていたところを借りることができ、メンバーみんなで大掃除をするところから始めました。今では「築数年？」と思わせるほどピカピカに☆

新型コロナが流行する前は、体操教室のあとにお昼ご飯をみんなで食べたり、お庭でバーベキューをしたりと、みんなの憩いの場として活用されていました。今は、



飲食はできませんが、それでも参加者の顔には笑顔があふれ、会場は笑いに満ちていました！

「鶴見も広いでしょ？だから、本当は出張カフェも計画してたんです。みんなが歩いてこられるところまで出向いて、淹れたてのコーヒーや手作りのおやつでおもてなししたら、みんな“ちょっと行ってみよう”って思ってくれるんじゃないかと思って」

そういつて新しいコーヒーメーカーやオーブントースターを見せてくださいました。ピザの試作も作ったりして準備万端だったそうですが…。

「もう少しの辛抱。きっともう少ししたら、できるようになりますよね」と、それでも皆さんの心は前向きです！

「地域交流拠点さざなみ」を切り盛りするのは、地域のお母さん達ですが、さざなみと一緒にスタートした「生活支援ボランティアグループ鶴鶴クラブ」を切り盛りするのは、地域のお父さん達。「お互い様」の精神で、地域のお困りごと(草刈り、木の伐採、住宅の清掃など)を請け負っています！

現在30名ほどのメンバーが在籍していますが、平均年齢は65～70歳とのこと。仕事の受注もマッチングも、そして実際の活動も、会長を中心にメンバーで協力して実施しているそうです。

そんな元気な皆さんに活動をはじめるポイントをお聞きました!!



「活動をはじめるポイントは??」

まずは、仲間を見つけること！
1人ではできないことも、仲間がいれば一緒に頑張れます。そして、誰よりも自分たちが楽しむこと。楽しめないと長く続けられません。最後に「集まる場所」があれば、きっとできますよ。



社会福祉法人太陽の家 生きづらさ・働きづらさを抱える方々への就労支援について



奥武あかねさん

社会福祉法人太陽の家 就労事業部 で働く奥武あかねさんは、障がい者就労支援の現場で『生きづらさ・働きづらさを抱える方々への就労支援』に取り組まれています。

〈生きづらさ・働きづらさを抱える方々ってどんな人達でしょう?〉

- 働く中で嫌な経験をしたためにそれがトラウマとなってしまった方
- “働きたい”気持ちはあるのに、会社に溶け込めない・なじめないために出勤できなくなってしまった方
- 学校は卒業しているけれども就職活動がうまくいかなくて、就職できなかった方 など

奥武さんは「精神的な面で働くことから遠ざかってしまっている方が増えている傾向にある」といいます。支援のポイントとしては次の2つがあるそうです。

ポイント1

支援で意識していることは、『自分自身を知る』というステップ。自分を理解すること、自分のニーズを理解すること、そして自律的に自分をコントロールする力、自分自身について説明する力。そういった力がつけられるように、時には言いづらいことにも踏み込む勇気、伝える優しさが求められてきます。

そして自己理解のプログラムの中では、「姿勢が悪くなっているよ」「表情が暗くなっているよ」と、気づいたことを伝えながらも、言いつけなしではなく、「こういう風にするともっと良くなるよね」と、それらを受け止める利用者の方々に寄り添うことも忘れません。

ポイント2

人を支える上で大切なことは『その人の良いところを見つける』ということ。

「魅力を理解していないと、良い就労支援には繋がらない」ということを念頭に、ご本人と企業との間に立ち、ご本人の同意を得た上で、ネガティブな情報や魅力も含め、「本人が伝えきれないこと」「企業側が知りたいこと」を代弁すること…。

さらに「なにかあれば私たちがサポートをします」と、ご本人、企業が安心できる環境を整えています。

「むかし私の恩師に、“**知った人には責任があるんだ**”と言われたんです。その言葉がいまも私の原動力になっています」と、奥武さんは今日も県内を走り回ってサポートを続けています。

「働きたい！」を応援します！ 生活困窮者の就労支援に関する意見交換会を開催♪

令和3年12月14日に、県内の生活困窮者支援を行う相談員と、大分県中小企業家同友会の皆さんが集まり、「生活困窮者の就労支援」について考えました。

はじめに「太陽の家 就労事業部」で障がい者の就労支援に携わっている奥武あかね先生をお招きし、「生きづらさを抱える人への就労支援」についてお話いただきました。

その後、グループで意見交換を行い、普段の支援における悩みや工夫を共有したり、企業として協力できることや求めることなどを話し合いました。今後このような機会を設け、生活困窮者の社会参加に向けた支援を展開していきたいと思っています。



参加者の感想

(相談員)

- 企業サイドの困窮者(障がい者)雇用についての考えを聞けて良かった。
- 企業側の意見を聞けて非常に良かった。他市社協との意見交換もできて、非常に参考になった。
- 就労支援の経験が乏しく、皆さんのこれまでの取り組みや企業からの助言等、とても参考になりました。



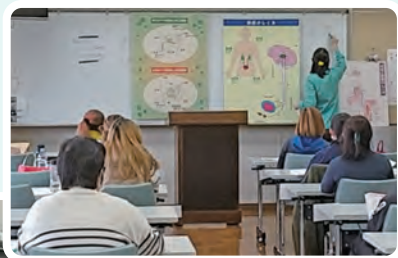
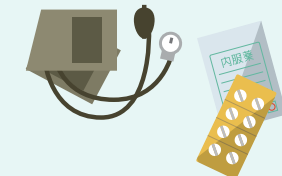
(企業)

- 社会福祉の仕事(現場)の大変さがわかりました。
- 社協の方と話すことができ、新鮮でした。
- 正直な話ができて、良かったと思う。



外国人介護スタッフ 向け研修会を開催しました

県内の介護施設では、たくさんの外国人介護スタッフが活躍しています。
県社協では、そのような外国人介護スタッフの介護技術や日本語能力の向上等を目的に、令和元年度から「外国人介護人材スキルアップ研修」を実施しています。
令和3年度は、食事の介護、入浴の介護等の「介護技術」に関する研修と、申し送りや介護記録の読み、介護の専門用語等の「介護の日本語」に関する研修を7月から11月にかけて計11回開催し、延べ97名の方が参加しました。
コロナ禍での開催となり、一部の研修を集合方式からオンラインへ切り替えるなどの変更もありましたが、施設のみなさんからご協力いただき全日程が終了しました。



今年度はオンライン研修も実施しました！



参加者からは

- *「介護の仕事にとっても役立つ」
- *「入浴介助や排せつの介助のやり方を学ぶことができてよかった」
- *「利用者さんを具体的に知ることが重要とわかった」
- *「申し送りや介護記録のよみかたがよくわかった」
- *「他の施設の外国人とコミュニケーションがとれて楽しかった」
- *「もっと勉強したい！」

等の声が寄せられました。

令和4年度も
引き続き
実施予定です！



第16回大分県地域福祉推進大会

令和3年10月13日、別府ビーコンプラザにて、「第16回大分県地域福祉推進大会」を開催しました。

今回も前回と同様に、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、参加人数や時間など規模を縮小しての開催となりましたが、社会福祉関係者約400名が一堂に会し、県内で社会福祉の推進に尽力されている多くの方々・団体が表彰されました。

大分県社会福祉協議会会長表彰・会長感謝状 受賞者

会長表彰

区 分	個 人	団 体
民 生 委 員・児 童 委 員	15	—
社 会 福 祉 施 設 職 員	54	
社 会 福 祉 団 体 役 職 員	20	
優 良 社 会 福 祉 施 設	—	1
自 立 更 生 者	4	—
ボランティア功労者・功労団体	7	2
社 会 福 祉 事 業 協 力 者	1	—
合 計	101	3

会長感謝状

区 分	個 人	団 体
ボランティア功労者・功労団体	25	9
善意銀行寄付者・寄付団体	4	12
社 会 福 祉 事 業 協 力 者	6	—
合 計	35	21



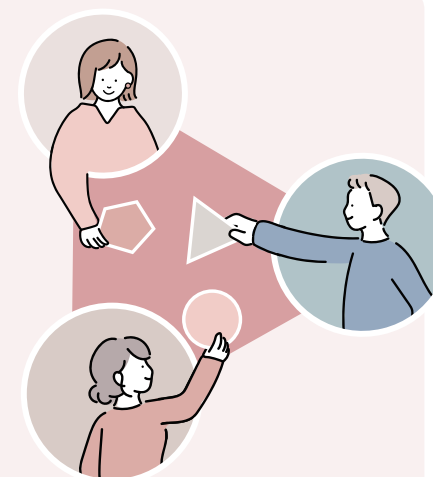
出所(出院)後の 再犯を防ぐために

令和3年度
権利擁護・地域生活
定着支援セミナー

令和3年11月27日、大分県、社会福祉法人恩賜財団済生会支部大分県済生会日田病院との共催で開催し、社協や福祉施設・福祉関係団体の役職員、医療機関・団体職員、行政・矯正施設職員、教育関係者など会場とオンライン合わせて約100名の方が参加しました。

前半は「地域共生に向けたスモールステップ～小さな目標から始めよう～」をテーマに、本人理解と本人との関係づくりに焦点をあて、出所(出院)後、再犯し矯正施設に戻るという負の連鎖を断ち切り、地域で生きる地域共生型の支援システム構築の必要性について、大分大学大学院福祉健康科学研究科長・福祉健康科学部教授の相澤仁氏にご講演いただきました。

後半はおおいた子ども支援ネットの矢野茂生氏をお迎えし「チームアプローチに対するスモールステップの試み～私たちができること～」をテーマにシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは実際の関係者にご登壇いただき、支援を受けた際に感じたことやこれからの目標、支援者としての思い等についてお話を伺い、参加者からも利用者や支援者の実際の話が聞けて良かったとの声をいただきました。



社会福祉施設等 経営支援セミナーを開催しました

令和3年6月から令和4年1月にかけて、大分県社会福祉施設等経営支援セミナーを全9回開催しました。

県内の社会福祉法人等の施設・事業所の運営や人材育成を支援するため毎年実施しています。今回は、コロナ禍において少しでも多くの方にご参加していただけるよう、9回のうち2回はオンライン配信とし、集合研修の場合も感染症対策を十分に行い実施しました。令和4年度も実施します。



	開催日	テーマ
第1回	6月 2日	ホスピタリティを表現する接客マナー研修
第2回	6月23日	感染症対策と予防研修(オンライン)
第3回	7月21日	福祉業界における介護ロボット・ICTの活用と課題
第4回	9月 1日	コンフリクトマネジメント研修
第5回	9月15日	メンタルヘルス研修
第6回	10月20日	効果的な部下・新人育成の実務研修
第7回	11月17日	プロ意識醸成研修～仕事の意欲向上のために～
第8回	12月 8日	権利擁護／虐待防止とリスクマネジメント研修
第9回	1月12日	アンガーマネジメント研修(オンライン)
第10回	2月 9日	ハラスメント防止研修 ※

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止



子育て環境ブロックセミナー

大分県民生委員児童委員協議会、大分県ボランティア連絡協議会、おおいた子ども食堂ネットワークの合同で県内7会場で開催しました。

講話Ⅰでは、一般社団法人みんなの学校代表の戸高諒さんに「フリースクールにおける子ども支援の実践」と題し、フリースクールでは、子どもたちの自発的行動を認め、ネガティブなことも話せる関係性が作られていること、また、子どもたちが安心できる居場所であるフリースクールや子ども食堂などが今後増えていくことが大切というお話がありました。

講話Ⅱでは、Cabooosu代表の幸野寛さんに「伝える、人をつなぐ」と題し、SNSの基本から活用術、コロナ禍で直接会えなくても、地域や子どもたちとコミュニケーションをとるためのつながる道具として、紙媒体と併せてSNSを活用してほしいという、大変参考になるお話がありました。



講師 戸高 諒さん



講師 幸野 寛さん



セミナーの様子

共同募金による助成事業を募集します!!

大分県共同募金会では、地域に暮らす方々が共にたすけあい、安心して暮らせる社会を目指して、じぶんの町を少しでも良くしようとがんばっているボランティア団体やNPO・社会福祉法人等に対して助成を行います。

令和5年度に実施する事業

広域公募助成事業

- 対象事業
 - (1)団体活動事業
活動域が県内全域若しくは市町村の枠を超える広域的な活動であり、かつ、地域福祉向上に一定の成果が期待できる活動。
 - (2)施設・機器等整備事業
活動域を問わず、施設・機器等の整備で利用者の利便性の向上や地域への波及効果が期待できる事業。
- 助成額(助成率:当該事業に必要と認められる額の4分の3以内)

団体活動事業…10万円以上50万円以内
機器等整備事業…10万円以上50万円以内(但し、本会が特に必要と認めた場合は100万円以内)
施設整備事業…10万円以上100万円以内(但し、本会が特に必要と認めた場合は200万円以内)

テーマ型助成事業(使途選択別募金)

- 対象事業
地域の福祉課題解決のための事業
必要な経費(募金目標額)を1月～3月の間に、団体が、直接、寄付を呼びかけます。
- 助成額
募金(寄付)相当額 ※寄付額に応じた加算あり ※募金目標額に応じ事務手数料を減算します。



令和4年度に実施する事業

特別事業

- 助成対象事業
安心・安全なまちづくりのための事業(地域での防災・減災活動、防犯活動、子どもや高齢者等の見守り活動等)
災害等により緊急(当年度)に助成が必要な事業等
- 助成額(助成率:当該事業に必要と認められる額の4分の3以内)
安心・安全なまちづくりのための事業(自然災害の被害や地域での防犯に取り組む活動等)…20万円以内
災害等で緊急に助成が必要な事業等…100万円以内
その他特別事業(福祉ニーズに即応して社協が地域福祉活動計画に沿って行うもの等)…100万円以内

JRA助成事業(公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団からの助成金)

- 助成対象事業
福祉車両、送迎用車両、備品の購入又は施設の設置、増改築及び各種修繕工事等で、各種運営に必要なものとするが特に福祉車両、送迎用車両の購入に係るものを重点とする。
- 助成額
総事業の4分3以内で100万円以内(1万円未満切り捨て)とする

上記すべての申請締切:令和4年5月20日(金)

詳しい内容は**大分県共同募金会ホームページ**をご覧ください。

助成申請公募要領及び書類様式がダウンロードできます。



社会福祉法人
大分県共同募金会 〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号(大分県総合社会福祉会館3階)

TEL 097-552-2371

FAX 097-552-6250

E-mail kyoudoubokin@oita-akaihane.or.jp

WEB www.oita-akaihane.or.jp

あすびあおいた（大分県身体障害者福祉センター）では、新年度も様々な教室・大会を準備しています。みなさまのご来場と参加をお待ちしています。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大など、諸事情により、中止又は延期等の場合もありますので、ご了承ください。

スポーツ・レクリエーション教室

No	教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催曜日	時間
①	親子スポーツ(A・B)	令和4年 5月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	10	日	13:30～16:30
②	親子水泳	令和4年 5月～令和4年 9月	障がい者(児)と介護者等	10	日	10:00～11:30
③	卓球バレー	令和4年 5月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	10	土	10:00～11:30
④	車いすテニス	令和4年 5月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	8	土	10:00～12:00
⑤	スポーツウエルネス吹矢	令和4年 6月～令和5年 1月	障がい者(児)と介護者等	8	日	10:00～11:30
⑥	ボッチャ	令和4年 5月～令和5年 2月	障がい者(児)と介護者等	10	土	10:00～12:00
⑦	フライングディスク	令和4年 6月～令和4年11月	障がい者(児)と介護者等	5	土	10:00～12:00
⑧	eスポーツ(ドローンサッカー)	令和4年10月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	2	未定	未定
⑨	水泳パーソナルレッスン	令和4年 5月～令和4年 9月	障がい児(者)と介護者	50	温水プール開放時の午後(随時)	

趣味・文化教室

No	教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催曜日	時間
①	料理(A)	令和4年 5月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	6	土	10:00～13:00
	料理(B)			6	日	10:00～13:00
②	絵画・造形	令和4年 5月～令和5年 2月	障がい者(児)と介護者等	10	土	13:30～15:30
③	実用書道	令和4年 6月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	10	土	13:30～15:30
④	絵手紙	令和4年 5月～令和5年 2月	障がい者(児)と介護者等	10	日	10:00～12:00
⑤	パソコンアドバイス	令和4年 5月～令和5年 2月	障がい者(児)と介護者等	5	土	13:30～15:30
⑥	おりがみ	令和4年 6月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	10	土	10:00～13:00

機能訓練教室

No	教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催曜日	時間
①	水中ウォーキング	令和4年 5月～令和4年10月	障がい者(児)と介護者等	18	金	10:30～12:00
②	水中リフレッシュ	令和4年 5月～令和4年 9月	障がい者(児)と介護者等	15	水	10:30～11:30
③	いきいきリフレッシュ	令和4年11月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	15	水	10:30～11:30
④	リハビリ運動	令和4年 5月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	10	日	10:00～11:00
⑤	園芸療法	令和4年12月～令和5年 3月	障がい者(児)と介護者等	3	土・日	10:00～12:00

大会・催しもの

No	大会名	開催時期	参加対象の方
①	第18回卓球バレー大会	令和4年 6月19日(日)	県内のチーム
②	第36回サウンドテーブルテニス大会	令和4年 7月17日(日)	視覚障がい者等
③	第37回囲碁交流大会	令和4年 7月30日(土)	障がい者(児)・一般愛好者
④	第37回将棋交流大会	令和4年 7月31日(日)	障がい者(児)・一般愛好者
⑤	第27回ふうせんバレーボール大会	令和4年 8月21日(日)	県内のチーム
⑥	あすびあフェスタ2022	令和4年10月23日(日)	どなたでも参加できます
⑦	第5回オセロ交流大会	令和4年10月29日(土)	障がい者(児)・一般愛好者
⑧	第12回夢物語作品展	令和4年10月24日(月)～11月27日(日)	絵画・造形・書道・絵手紙教室受講者等
⑨	第17回フライングディスク大会	令和4年12月10日(土)	障がい者(児)・一般愛好者
⑩	第36回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会	令和4年12月11日(日)	障がい者(児)・一般愛好者
⑪	第7回スポーツウエルネス吹矢大会	令和5年 2月12日(日)	障がい者(児)・一般愛好者

生活相談 講習会

教室名	開催時期	参加対象の方	回数	開催曜日	時間
テーマ設定型研修会・個別相談会	未定	障がい者と介護者等	1	未定	未定
eスポーツ体験型講習会(ゲーム)	未定	施設関係者	2	未定	未定

「あすびあ倶楽部」への
参加をお待ちしています！

現在、多くの方が「切り絵」、「折り紙」、「将棋」、「機織り」、「オカリナ」等の各倶楽部で、楽しい時間を過ごしています。興味、関心のある方の積極的な参加をお待ちしています。
詳しい日程などは、電話またはセンター窓口でお尋ねください。参加は自由です。是非、お気軽にお越しください。皆様の参加を職員一同、お待ちしております。

お気軽にお問い合わせください TEL 097-558-4849 FAX 097-558-0316

“障がい者eスポーツ” 始動です!!

あすびあおいた（大分県身体障害者福祉センター）では、令和3年度から5年間、新たに障がい者 eスポーツの普及啓発に取り組んでいます。

今年度は、最近、メディアでも取上げられることが多い「ドローンサッカー」の講習会と教室を開催しました。来年度は、ドローンサッカーのミニ大会や、他のeスポーツ種目の普及・啓発などにも取り組み、「eスポーツといえば、あすびあおいた」と思っていただけるよう頑張ります。



eスポーツ体験型講習会

日 時 令和3年10月15日(金)・11月5日(金)
場 所 体育室
対象者 障害者支援施設・事業所に従事する職員等
内 容 ドローンの基礎知識(座学)、
ドローンサッカー体験(SKYKICK(※)の操作、
3対3のミニゲーム)、空撮体験
※ドローンサッカー用小型ドローン

ドローンに触れるのは初めての
ようで、最初は緊張の面持ちでし
たが、実際にコントローラーを手
に、ドローンを飛ばし始めると、童
心に返ったと言いますか、短時間
で基本となる上昇・下降・前後・左
右・静止といった操作を身につけ
ていました。好きこそ物の上手な
れでしょうか？

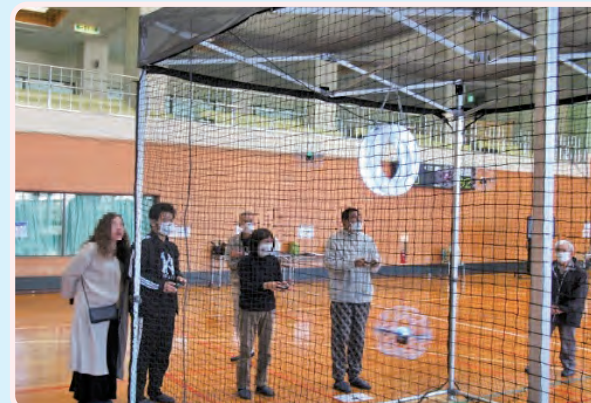


eスポーツ体験型教室

日 時 令和3年11月27日(土)
12月11日(土)
場 所 体育室
対象者 障がい者・児とその家族
内 容 ドローンサッカー体験
(SKYKICKの操作、3対3のミニゲーム)



「初心者にはドローンの操作が難しいと思っ
ていたが意外と簡単に操作できた」「SKYKICKがゴール
を通過すると盛り上がる」「挑戦できる機会が得
られてうれしい」などの感想をいただきました。
受講者の方々の感想や受講の様子を拝見し、改
めて、eスポーツは、「年齢や性別、障害の有無に関
係なく楽しめるスポーツ」だということを実感し
ました。



繋がる善意の輪



ホームページ、Facebook、Instagramにも掲載しています。ぜひご覧ください！

ここでは、善意銀行に預託いただいたご寄付を活用した取組等をご紹介します。
あたたかい善意のご寄付をお寄せくださった皆様に、感謝の思いと頑張る皆さんの笑顔が届くよう、繋がる善意の輪を一部ではありますお届けします。

あいう笑がお～おいた～さん

活動をする中で大切にしているのは「患者さん目線」。
使用する患者さんがタオル帽子を身に着けることで、治療に前向きになってほしいと、メンバーの皆さんが一つ一つ手縫いで帽子に仕上げています。
「明るく前向きな気持ちが一针一针に込められ、そのパワーが患者さんに伝わる」と信じ、手縫いするときは「みんなで明るく笑顔で」を心にかけているそうです。帽子が届いた患者さん達からは、「元氣になりました」「治療頑張ります！」という前向きなお声もたくさん寄せられています（^^）

代表者 村田智子さんからのメッセージ♪

善意銀行にご寄付いただいた皆様ありがとうございます。患者の皆様の気持ちが明るくなるような模様、綿100%の心地よいタオル帽子がたくさん出来上がっています。辛い治療の中でも、患者の皆様にも少しでも笑顔をお届けすることができたら・・・とメンバーみんなが同じ想いで、一つ一つ心を込めて縫っています。
私たちができることは些細なことかもしれませんが、少しでも患者さんに寄り添うことができれば嬉しく思います。ありがとうございました。



がん治療の副作用により毛髪が抜けてしまった方々に、新品の綿100%のフェイスタオルで、手縫いをした帽子を贈る活動をしている「あいう笑がお～おいた～」さん。今年でその活動も3年目を迎えます。

『Clear Lun ダンスセラピー』さん

ダンスを通して能力や認知能力が養われ、社会生活・学校での共同生活をスムーズにできるよう指導し、サポートしています。
ダンス療育教室では、発達障がい児専門の習い事教室で、周りを気にせず自分のペースで安心して習える場所の提供を、また成育体操教室では、未就学児の成育にあったレッスンが行われています。
新たに親子成育体操・ママの為のバレエピラティス教室もスタート！様々な世代のヘルスケアに取り組んでいるそうです。

代表者 川口倫恵さんからのメッセージ♪

善意銀行にご寄付をいただいた皆様、ありがとうございます！
コロナ禍で、なかなかイベント・習い事に行く機会が少なくなる中、今回の助成金により、感染予防品やスピーカーなどを購入させていただき、安心したイベントや習い事の開催が出来ました。参加された方々が楽しいそうにしている姿を見ることができ、本当にうれしかったです。

Clear Lun ダンスセラピーさんは、大分県内で発達障がいを持つ子供たちにダンス療育、未就学児に成育ダンスを指導しています。また、様々な世代の方と障がい者が一緒に舞台芸術の体験ができるプロデュースも行っています。



『やじろべえサッカースクール』さん

スクールでは、障がいのある方にスポーツの機会を提供するなかで、「とにかく楽しくやること」と「仲間づくり」をととても大切にしているそうです。
フットサルを通じて友人を作ること、生活を豊かにしています！

代表者 曾我淳史さんからのメッセージ♪

善意銀行にご寄付をいただいた皆さま、ありがとうございます☆
年齢も違う。学校も施設も職場も違う。障がいも違うし、まだハンディキャップを持たない人もいます。
みんな、月1回、仲間たちと会い、スポーツ、フットサルをすることをとても楽しみにしています。
今回、カラフルな新しいボールを頂きました！楽しさもより一層です（^^）
ありがとうございました。



「やじろべえサッカースクール」さんでは、10年以上、身体障害者福祉センターあすびおおいたを利用して、月に1回のフットサル教室を行っており、毎月10～50代の障がいのある方20～30名が汗を流しています。

食糧支援を受けた留学生からの感謝のメッセージ ※原文のまま

* Thank you very much for the supports when we are in troubles. Its supports us (^^)

困難に直面している時に支援をしていただき本当にありがとうございます。これらの支援が私たちを支えてくれています。

* Thank you ! Hope everyone will get happy forever! Keep healthy! ありがとうございます！みんながずっと幸せでいられますように... 健康に気をつけよう！

* Thank you for your help in this challenging time!! この困難な時期にご支援いただきありがとうございます！

* Thank you very much for supporting students in these difficult times. このような困難な時期に学生を応援していただき、誠にありがとうございます。

* 謝謝！一生感謝！

* ちょうど食糧に困っているところ、大変ありがとうございました。

* ありがとうございます。りゅうがくせいのためにたすけてくれました。こころからおよろこびもうしあげます。

* コロナウィルスのせいで、がくせいのせいかつもできなくて、アルバイトもすくなくなっているんですが、このフードバンクマルシェ（食糧支援）は、りゅうがくせいにととてもとても ひとつようです。ありがたいです。どうもありがとうございました。



大分ロータリークラブ様よりいただいたご寄付と、様々な企業・団体様にいただいた食糧や雑貨を活用し、令和3年度5回にわたって開催されている「フードバンクマルシェ」☆参加した留学生からのたくさんの感謝のメッセージ（一部）です！

広がる善意の輪

昭和37年5月1日、全国で最初に誕生した本会の善意銀行は、各方面の深いご理解とご協力により支えられております。新型コロナウイルスの流行が終息を見ない中、誰かを思いやる気持ちによって広がる善意の輪を一部ではありますお届けします。（敬称略）

(株)インホープ



児童養護施設へのご寄付をいただきました！（児童養護施設等へ配分）

大分県農業共済組合



感謝米、大豆をご寄贈いただきました！（児童養護施設、フードバンクおいたへ配分）

(株)SYSKEN



お米のご寄贈、ご寄付をいただきました！（フードバンクおいたへ配分）

サラヤ(株)



感染症拡大防止のために手指消毒液をご寄贈いただきました！（県内社会福祉施設等へ配分）

日産プリンス大分販売(株)様・日産プリンス大分販売労組



介護用ベッド3台をご寄贈いただきました！（市町村社会福祉協議会へ配分）

(株)レイメイ藤井大分支店



文具セット120組をご寄贈いただきました！（母子寡婦福祉連合会等へ配分）

加藤登紀子子ども食堂支援チャリティコンサート実行委員会



収益金の一部をご寄付いただきました！（子ども食堂へ配分）

聖幼稚園



一生懸命お手伝いをして集めたお小遣いを困っている方々のために...と、ご寄付いただきました！（歳末助け合い募金へ配分）

豊和銀行従業員組合



ご寄付をいただきました！（歳末助け合い募金へ配分）

寄付・寄贈いただいた皆様

令和3年8月～12月 ※掲載辞退者及び上掲載分を除く（敬称略・五十音順）

- アグリ トラディション
- イオン九州株式会社
- うらら着物部
- NTTビジネスソリューションズ
- NHK大分放送局
- 大分県教職員組合大分支部
- 大分エルエヌジー株式会社
- 大分県信用保証協会
- 大分県立大分上野丘高等学校家庭部
- 大分県うつくし作戦推進課
- 大分ロータリークラブ
- 大分県保育連合会
- 大分ファミリー株式会社

- 大分県手をつなぐ育成会
- 大分県企画振興部
- 芸術文化スポーツ振興課
- 大分キャノンマテリアル株式会社
- 大分県労働者福祉協議会
- 大分県労働者福祉協議会
- 大分県ロータリークラブ
- 株式会社 上野建設
- 株式会社大分銀行
- (株)きんてん九州支社大分営業所
- 株式会社エイチワン中津工場
- 九州ENEOS会
- 九州電力株式会社 大分支店

- 九州労働金庫大分支部
- 公益財団法人大分県薬剤師会
- 公益財団法人老人はげみの里見会
- 生活協同組合コープおいた
- 佐藤昭浩
- 社会福祉法人第二杉の木園
- 城東地域包括支援センター
- 生長の家
- 創価学会大分平和会館
- 第一生命保険株式会社
- ダイニングレストラン 薔薇屋
- Dream 財団
- 永松陽子

- 農事組合法人アグリ宗方
- 保険代理店アシタエ
- パーチャルキャディ白玉ぶあちゃん。
- 牧納骨堂管理委員会
- 明治安田生命保険相互会
- 森ビル(株)森猛虎商店
- UDFアッシュンことり
- (有)みどり調剤薬局
- ゆめマート日田

〈香典返し寄付〉

- 足立英輔

令和3年度 賛助会員

令和3年9月～12月加入

（敬称略・五十音順）

- 佐々木 寿美子
- 一般社団法人 大分県歯科医師会

いつもありがとうございます

